

平成30年度 愛媛大学 COC 公開講座 in 内子町

～ 景観を創る意味 ～

町並み、村並み、山並みと長年にわたり景観保全に取り組んでいる町、内子町。「内子町景観まちづくり計画」を策定して10年が経過します。今回の公開講座では、「景観を創る意味」(まちの景観は、まちの意志として創ることができる)について、内子町の事例や他地域の事例を参考にしながら、その成果や今後の展開について考えてみたいと思います。

2019年
3月23日(土) 13:30～16:00
(内子自治センター 多目的ホール)
参加費：無料(定員100名)



講演テーマ
事例報告「歴史的建造物
を活用した拠点づく
りについて」

内子町 八日市・護国町並
保存センター
係長 西岡 真貴 氏



講演テーマ
「風景を創る意味」

愛媛大学社会共創学部
助教 片岡 由香



【主催】愛媛大学 【共催】内子町
プログラム詳細と、参加お申込み・お
問い合わせについては、チラシ裏面を
ご覧ください。
(愛媛大学 COC 企画運営部事務局)

◆本イベントは、地（知）の拠点整備事業（COC 事業）として「地域の再生を担う実践的人材の育成」を目的に、学生から社会人まで、地域の方全てを対象に開催します。

平成 30 年度 愛媛大学 COC 公開講座 in 内子町

【会場】 内子自治センター 多目的ホール
(喜多郡内子町内子 3427 番地)



内 容

13:30 ~ 13:40 主催者挨拶 愛媛大学理事・副学長 仁科 弘重

13:40 ~ 13:50 共催者挨拶 内子町長 稲本 隆壽氏

13:50 ~ 14:20 講演 1 「事例報告「歴史的建造物を活用した拠点づくりについて」」
内子町 八日市・護国町並保存センター 係長 西岡 真貴氏

「歴史的風致維持向上計画」策定のために関わっていただいている東京大学都市デザイン研究室からの提案内容、「市街地にある伝統的建造物の転用案」等を紹介いたします。

14:20 ~ 15:50 講演 2 「風景を創る意味」
愛媛大学社会共創学部助教 片岡 由香

松山アーバンデザインセンター（UDCM）が空間デザインマネジメントを行った「花園町通り」の活動は、まさに「風景を創る」試みです。この活動により「花園町通り」の歩行者は2倍に増え、「ソトノバ・アワード 2018」のプロジェクトデザイン部門賞を受賞しました。松山アーバンデザインセンターの活動や、他地域での事例をとおして「風景を創る意味」を考えたいと思います。

15:50 ~ 16:00 質疑、終了

【主催】愛媛大学 【共催】内子町

参加申込み先

定員 100 名 (先着順)

愛媛大学 COC 企画運営部事務局 (社会連携推進機構内)

Mail: coc@stu.ehime-u.ac.jp Fax: 089-927-8820

- ▶ 3月20日(水)までに、電子メールまたはFAXで、上記COC企画運営部事務局までお申し込みください。なお、承諾のご連絡はいたしません。定員に達した場合、お断りのご連絡を差し上げます。
- ▶ 障がいのある方等で支援の必要な方は、2週間前までにその旨をお書き添えください。

ふりがな
お名前

※ 複数人でお申し込みの際は、全員分のお名前をご記入ください。

ご所属

役職名

Tel.

E-mail